

大阪・関西万博における取組について

2023年4月

内閣官房

1 . 大阪・関西万博の基本情報

- 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する様々な参加形態や事業、会場のデザインを含む会場計画、運営計画、資金計画等をまとめたマスタープラン「基本計画」を2020年12月25日策定・公表
- 基本計画に基づき、参加国、国際機関への招請活動や企業・団体・自治体・市民団体等の参加と共創を促進するとともに、各事業の実施計画の策定や具体的な取組を推進

開催概要

名称	2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会場	夢洲(ゆめしま)（大阪市臨海部）
開催期間	2025年4月13日（日曜日）～10月13日（月曜日）
想定来場者数	約2,820万人（うち海外からは約350万人）
参加国・機関	153か国・地域 8国際機関 （2023年3月24日時点）



2. アクションプランについて

- 大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化に向けた、各省庁の現時点における目指すべき取組の概要、今後の実施方針についてまとめたもの。
国際博覧会推進本部（本部長：岸田総理）で決定。
- 半年に1回程度改訂し、取組を具体化していく。（直近の改訂は2022年12月）

<アクションプランの全体像（主要項目）>

1. モビリティ

- 空飛ぶクルマの実現（経・国）
- 自動運転の推進（デジ・国・警・総・経）
- 電動自動車の活用拡大（環・国）

2. エネルギー・環境

- 水素・アンモニア発電技術等の実証（経）
- 再エネ水素を使ったメタネーション実証（環）
- 資源循環に関する展示・実証（経・環）

3. デジタル

- 多言語翻訳技術の高度化（総）
- Beyond 5G ready ショーケース（総）

4. 健康・医療（ライフサイエンス）

- Personal Health Record (PHR) の活用（経）
- 先進的な医療機器・医薬品等の情報発信（厚・経）

5. 観光・食・文化・スポーツ・教育

- 全国への誘客促進（内閣・国）
- 食文化・酒類の魅力発信（農・文・財）
- 文化・芸術等の発信（文・経・内府）
- スポーツイベントとの連携（文）
- 万博を通じた学びの提供（文）
- アイヌ文化の対外発信（内閣）
- 万博国際交流プログラム（内閣）

6. 最先端の科学技術

- ロボットの活用推進（経・文）
- 宇宙に関する展示・情報発信（内府・文）
- 防災DX等の技術活用（文・総）
- スタートアップ/中小企業の魅力発信（経）

7. その他

- 女性活躍推進館（仮称）（内・経）

2. アクションプランについて

5. 観光・食・文化・教育・スポーツ

連絡先 内閣府知的財産戦略推進事務局
03-3581-4225

クールジャパンの総力を結集した機運の醸成

①実施概要

地域における万博への機運を高めるため、クールジャパン関係者の総力を結集させて地域の魅力を磨き上げ、特に外国人目線を取り入れたプロモーションを実施する。バーチャル万博や万博アプリ等も活用することで、訪日を計画する多くの外国人の目に留まるようにし、訪日喚起、全国各地への誘引、滞在期間の長期化を図るとともに、地域独特の魅力への共感、日本ファンの増加につなげる。

(実施主体) 民間事業者、地方公共団体等

(実施場所) 会場外（各地域）、バーチャル万博

(実施期間) 開催期間前から期間中

②今後の実施方針

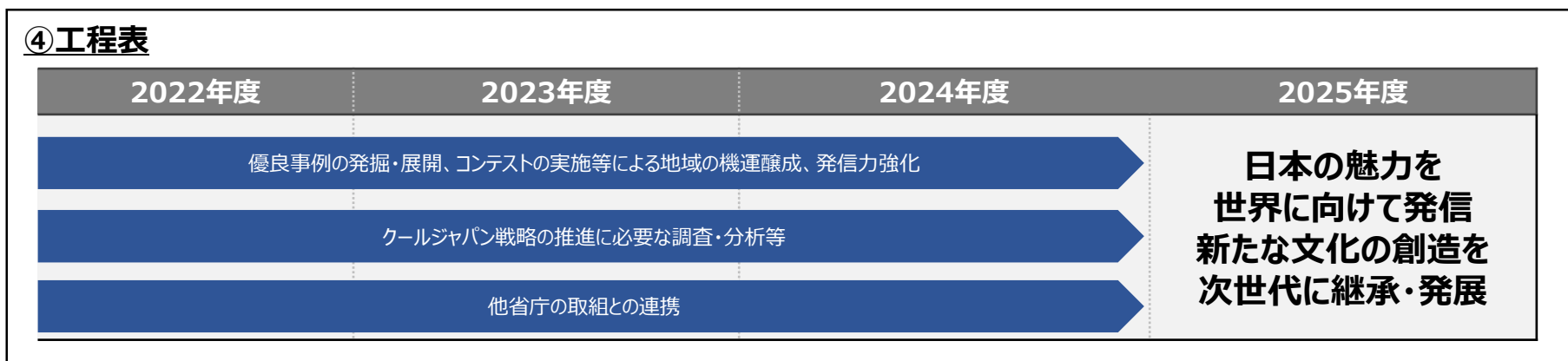
・異業種との連携や、クールジャパン関係者による情報発信等を行い、地域における魅力の磨き上げや発信力の強化、万博への機運醸成を図る。また、クールジャパンと関連性の高い他省庁の取組との共創を検討する。

③予算

令和5年度概算決定額：69百万円

https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r05/gaiyou_r5.pdf

④工程表



3. 万博交流イニシアチブ

- 日本企業の国際競争力を強化することで、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとし、経済成長を実現するためには、2025年大阪・関西万博の成功が必要不可欠。
- 万博がもたらすメリットを大阪・関西のみならず日本全国が享受することができるよう、全国的な機運醸成を図り、コロナ禍で縮小した国内外との人的交流を復活させることで、地域活性化を実現することが重要。

万博を契機とした交流人口の拡大

1 自治体交流

2 観光交流

3 教育交流

4 文化・
スポーツ交流

5 ビジネス・
学術交流

- 地域経済の活性化
- インバウンドの回復
- 世界に通用する人材育成
- 新しいビジネス・イノベーションの機会の創出
- ソフトパワーの強化

- 万博のメリットを日本全国が享受
- 世界における日本のプレゼンス向上

4. テーマウィークについて

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマ（「いのちを救う」「いのちを与える」「いのちをつなぐ」）に基づき、地球規模の課題を週単位でテーマとして設定。課題解決型万博として、本格的な対話プログラムや、新たなビジネスマッチングを創出する国際ビジネス交流を導入する。
- 期間中はテーマに関するイベントやプログラムを、協会、政府、自治体、公式参加国など様々な主体が、会場内外、全国規模で実施。政府としても各テーマに合わせた企画を立案し、フォーラム等の開催のほか、国際会議の誘致や連携を行う。
- 具体的なテーマや日程は、2023年春頃決定予定。

<テーマウィークのイメージ>

- ・国際会議
- ・展示会、見本市
- ・大会
- ・ビジネスイベント
- ・シンポジウム 等

テーマウィークに合わせ
全国で実施



Expo 2020 Dubai World Majlisの様子



(出展)「EXPO 2020 DUBAI UAE」ホームページ

ドバイ万博の10のテーマ

気候変動と生物多様性	旅行と交流
宇宙	SDGs
都市と田園の開発	健康とウェルネス
包摂性	食と農業と暮らし
知と学習	水